

若草

校訓



自立・創造

平成26年3月25日
尼崎市立若草中学校
学校だより(第14号)
<http://www.ama-net.ed.jp/school/J07/index.htm>

TEL 6499-9483 FAX6499-9486

1年間ありがとうございました。

第54回卒業証書授与式がおそそかに終了し、109名の卒業生が巣立っていきました。



9年間の義務教育を終える節目となる大きな儀式に3年生は皆、緊張しながらもキリッとした気持ちのこもったいい式でした。証書をもらう姿勢、話を聞く姿勢、最後の歌と言葉も気持ちが伝わってきました。自らの進路を決めていくという初めての試練を経験して、また一回り成長したように感じました。同時に在校生には先輩たちのいい伝統をしっかり受け継ぎ、さらに高い目標を目指してほしいと思います。1・2年生は修了式を迎え、まもなく上の学年へと進級します。この1年間を振り返ってみて自分にとってどんな1年でしたか？心も身体も成長したのでしょうか？自分がすべきことに全力で取り組みましたか？その成果が少しでも出ているのでしょうか？授業で学んだことが自分のものになっていますか？それらをしっかり振り返り、次の学年の準備のための春休みにしてほしいと思います。将来を見据えた時、少しずつ現実が、そして試練が押し寄せてきます。その波に押しつぶされないように、当たり前なことを当たり前前に腰を据えてやっていってほしいと思います。

地域清掃

3月18日の早朝、地域清掃を実施しました。



今にも雨が降り出しそうな天気でしたがなんとか雨も降らず、たくさんのごみの袋を抱えながら登校していました。学校周辺もゴミが多くて大変ですが、あちこちがきれいになって地域の方にも喜ばれました。

学校評価(教職員より)

課題・・・本年度の研究テーマを意識した日々の実践や教育活動がやや弱い(単元ごとのテストや振り返り、家庭学習を定着させる指導)。校外での研修への参加が少ない。

良いところ・・・授業が計画通り進んだ。客観的な評価ができた。評価規準、見通しを持った授業ができた。生徒との積極的な関わりを心がけた。始業時間が守られている。保健管理、安全防災教育ができています。(詳細データは3ページに掲載しています)

学校関係者評価より

この1年の本校の教育活動について評価と課題解決に向けてアドバイスをいただきました。評価はおおむねBでしたが、次の通り次年度に向けて解決をしなければならない課題も多く、決意を新たに丸となって取り組みます。

(総評)本校の今年度の重点目標とその取り組み状況について 学校運営について

「学校だより」「ホームページによる地域への情報公開」「学年だより・学級だより」による保護者・生徒への情報公開は協力・理解を求める唯一の手段だと思ふ。先生方の努力も伺えた。今後も継続してもらいたい。

「学校公開日」は多くの方が参観できる日が良い。体育大会の実施日については難しい面はあると思うが、生徒達の活動を知る機会ととらえて、計画してもらいたい。

教育課程について

家庭学習と授業をつなげ、「分かる授業」を目指して欲しい。中学校の先生同士の情報交換はもちろんだが、小学校の先生方との学力面での情報交換・協議も大変重要である。家庭学習の促進が必要である。

色々な体験活動の取り組みは評価できる。体験活動を通して、学習への生徒の興味・関心と呼びおこす必要がある。

防災教育については学校だけで行うのではなく、できるだけ地域を巻き込んで実施してはどうか。

その他について

不登校生の増加は問題である。初期対応を迅速に的確に行う必要がある。保護者との連携もあきらめずに学校側が主体となってやるべきである。

挨拶ができない生徒が増えているように思う。

【取り組みの方向性】

- ・一番の課題である学力向上に関して生徒に直接勉学の魅力や必要性を感じさせる授業にするため相互の研修や情報交換、工夫等について学校全体で方策を練る。
- ・放課後学習などの取り組みが授業とリンクするよう教材を工夫する。
- ・部活動だけでなく、生徒会活動(自治活動)で生徒の自主性や社会性や意欲を育む。
- ・心の育成や社会力をつけるための体験活動やキャリア教育をより充実させる。

非行防止教室

3月17日、本校の1・2年生を対象に兵庫県警察の少年育成課よりハートスキルアップ劇団「麦の穂」、尼崎市少年サポートセンターの方々を迎え、非行防止教室を開催しました。



昨今、少年を取り巻く環境が複雑で多様化し、その影響を受けて少年の非行等が目立ち、その中でも年齢を問わずLINEやFacebook等、携帯電話やスマートフォンによるトラブルが増加しています。今回はそういった少年犯罪「携帯の間違った使用方法」「喫煙」「万引き」に焦点を当て、犯罪や危険を回避するためには何が必要で、どういう行動を取らなければならないのかを劇を通して教えていただきました。本校の教員2名、生徒会長の飛び入り出演もあり、楽しみながら、学習できました。

BFC解散式

昨年6月19日に発足した本校少年少女消防クラブ(1年1組の皆さん)が3月6日に東消防署の方々を迎え、解散式を行いました。避難訓練・防災訓練では消火活動等で活躍してくれました。今後も身につけた安全安心の知恵と知識を人のために役立ててもらいたいと思います。ご苦労さまでした!

学校評価(教職員アンケート)より

数値は人数を表す。

数値は教員数 (A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない)					
1	教育目標・研究テーマ・学校運営	A	B	C	D
(1)	「生きる力」の育成について効果的な学校運営ができたと思う。	2	5	5	0
(2)	教育目標「自ら進んで粘り強く活動し(意)、目的を持って意欲的に学習に取り組み(知)豊かな心と思いやりを持ち(徳)心身ともに健康な(体)生徒を育成する」は良いと思いますか	6	7	0	0
(3)	教育目標が日々の実践に生かされていると思う。	2	9	2	0
(4)	研究テーマ「新学習指導要領を踏まえた授業の工夫改善と自治活動の推進」が、日々の実践や教育活動に生かされていたと思う。	4	8	0	0
(5)	校長にこんな学校をつくりたいという経営のビジョンが感じられる。	1	9	1	0
(6)	学校運営に教職員の意見が反映されていると思う。	1	9	1	0
2	学習指導 教科・道徳				
(7)	授業が、年間計画通りにできた。	3	8	1	0
(8)	生徒に評価の基準を示し授業の見通しを立てさせることができた。	2	8	2	0
(9)	客観的な評価基準のもと信頼性のある評価(評定)ができた。	3	8	1	0
(10)	単元ごとに確認テストを実施し、自己チェックシートで学習の振り返りをさせることができた。	2	5	5	0
(11)	自分自身の授業について、工夫・改善できた。	2	8	2	0
(12)	授業の決まりは徹底させることができた。	2	7	3	0
(13)	宿題やその点検、確認テストなど家庭学習を習慣づける指導ができた。	1	6	5	0
(14)	道徳・人権の年間指導計画に従って道徳の授業ができた。	3	6	1	0
3	特別活動・学校行事・課外クラブ				
(15)	「総合的な学習の時間」で、「探求する力」を育成することができた。	2	8	2	0
(16)	家庭訪問は、保護者との連携・信頼関係作りや、学校の説明責任を果たすなど、効果的に実施できた。	5	4	0	0
(17)	修学旅行・宿泊学習の企画運営は三年間を見据えたものになっている。	4	9	0	0
(18)	体育大会・文化発表会など保護者・地域を招いての行事の運営はこれでよいと思う。	3	10	0	0
(19)	生徒会活動の企画運営はこれでよいと思う。	4	9	0	0
(20)	学年(学級)として、生徒の自主的な活動の場を与え、社会性・感性・主体性を伸ばすことができた。	2	6	4	0
(21)	部活動にかかわり、生徒の「生きる力」を育成することができた。	3	8	1	0
4	特別支援教育				
(22)	本校の特別支援教育体制はこれでよいと思う。	3	10	0	0
(23)	特別支援(基礎学級も含む)の生徒の共通理解を深め、個に応じた適切な指導・支援ができた。	4	9	0	0
5	生徒指導				
(24)	本校の生徒指導体制はこれでよいと思う。	2	9	2	0
(25)	各学年とも共通理解のもと、生徒指導対応ができていると思う。	1	10	2	0
(26)	遅刻指導・風紀指導など基本的な生活習慣の育成を図れた。	1	10	2	0
(27)	保護者対応や関係機関対応に関して管理職も含めた報告・連絡・相談ができていた。	3	10	0	0
(28)	長欠生徒や別室生徒への指導がきめ細かくできたと思う	2	10	1	0
(29)	不登校担当・スクールカウンセラー・心の教育指導補助員・訪問指導員との連携がよくとれていたと思う	2	10	0	0
6	進路指導				
(30)	進路指導体制など学年の計画・運営はしっかりできていた。	4	7	0	0
7	保健管理				
(31)	緊急時の対応が、組織として迅速・適切になされていたと思う。	9	4	0	0
(32)	保健室との連携が緊密にとれ、保健安全面の指導が適切になされた。	9	4	0	0
(33)	学校保健教育体制はこれでよいと思う。	8	4	1	0
8	職員・研修				
(34)	自分の書類・ファイル・データは適切に管理し、処理できていた。	4	9	0	0
(35)	生徒に積極的にいかかわりふれあいを深め、信頼関係を築く努力をした。	3	10	0	0
(36)	チャームと同時に授業を始められた。	5	5	2	0
(37)	各委員会は活動の目標を明確にし、活動していましたか	1	7	5	0
(38)	成績データや個人情報などに関して、記憶媒体の扱いも含め、セキュリティは安全だった。	5	8	0	0
(39)	校内研修に積極的に取り組み自身の資質向上に役立てられた。	3	9	1	0
(40)	校外の研修に積極的に参加し資質を高め成果を教育実践に生かされた。	2	8	3	0
9	安全防災教育				
(41)	人間尊重に基づいた人権教育の視点で、生徒に安全教育ができた。	3	10	0	0
(42)	不審者や事故への対応など危機管理意識を持ち、適切な対応ができた。	2	9	2	0
(43)	避難訓練や授業・クラブにおいて安全指導の徹底を図ることができた。	3	10	0	0
10	施設・整備				
(44)	担当区域の安全管理を徹底し、施設や設備の不備を報告・修理した。	3	9	0	0
(45)	校内の美化を心がけ、担当教室などは整理整頓し適切に使用した。	2	10	0	0
11	PTA・地域社会				
(46)	小中連携や社会人講師を招くなどの取り組みを意識し、実施した。	1	12	0	0
(47)	PTAの活動内容等について十分理解し、協力・支援できた。	3	9	0	0
(48)	説明責任を果たし保護者の学校への理解、協力が得られる努力をした。	2	11	0	0

本年度最後の研究授業

3月18日、本校教員の友成 智先生が先生方が参観する中で、本年度最後の研究授業を2年3組で行いました。授業では生徒達一人一人が「粘土」を伸ばし、焼き上がった物を楽しみに、思い思いの造形物を作っていました。参観をしながら、活動する子ども達にアドバイスする先生達の姿も印象的でした。釉薬を塗り、焼き上げてみないと分かりませんが、ほとんどの人は湯飲みや花瓶を作っているように見えました。気に入った焼き物ができあがればいいですね。



春休みには実行型を

人間には4つのタイプがあるとされています。一つ、「不言実行型」理屈や不満を言わずに黙々と努力をし実行するタイプの人。二つ、「有言実行型」いろいろと言うが、行動を伴い良く活動するタイプの人。三つ、「有言不実行型」口先ばかり達者で自分ではやらないタイプの人。四つ、「不言不実行型」何も言わないが、何もしない、無関心・無気力なタイプの人。どのタイプの人かが信頼され、また嫌われるだろうか。世の中に出て役に立つ人はどのタイプだろうか。少なくとも後者2つは他の人からは信頼される人でないことはすぐに分かります。前者2つでは、「あなたはどちらのタイプが好きですか」と尋ねると、どちらが良いのかを判断できないという人が多く、中には「大言壮語をせず、行動する」ことを美德としている人もいます。そして「口に出すことが重要なことではなく、「行動することが大切なんだ」と説明されます。

では、君は自分をどのタイプだと思いますか。毎朝、鏡を見たときに自分に問いかけてみて下さい。もし君が前者2つのタイプではなく、後者2つのタイプのどちらかなら、今後意識して行動を伴う実行力のある人になるよう心がけて下さい。

この春休みは学年と学年を結ぶ短い休みですが、本年度を振り返り、学習面と生活面において目標を決め、実行型の人になるように努力して下さい。

学校だよりも今号が最終となります。皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

【卒業生の進路】3月21日現在 109名中	
公立推薦	10名
特色選抜	5名
国立一般	1名
公立一般(全日制)	58名
公立一般(定時制)	受検予定含む 10名
公立一般(多部制)	1名
私立高校	受検予定含む 15名
就職	1名
その他	1名
県立阪神特別支援	1名